

No.	③	分類	3-(1)-ア	資料名	たのしい えんそく	学年	1年	領域	道徳	1-(4)
-----	---	----	---------	-----	-----------	----	----	----	----	-------

1 ねらい

- 身近な暮らしの中で、自分の過ちに気づいた時には、素直に改めようとする誠実な態度を育てる。

2 趣旨

- 低学年においては、集団の一員としての自覚をもち、自分の考えや思いを表現したり、行動に表したりしようとする態度を育てることが大切である。
- 本資料では、自分の過ちに気づき、素直に改めようとする主人公の心情に寄り添わせ、自分の思いを表現し、行動に表す誠実な態度の大切さをとらえさせる。

3 配慮事項

- 学校行事や生活科の学習に関連させて指導する。
- 挿絵を1枚ずつの紙芝居にして児童に読み聞かせてもよい。(本文は資料編 P.15・挿絵は1枚ずつダウンロード可)
- 自然愛護の観点からの指導も考えられる。

4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
1 遠足に行った経験を話し合う。	・自然の中では、解放感にひたり、気持ちが大きくなることをおさえ、クマくんの気持ちに共感させたい。
2 資料を読み、クマくんの気持ちを考える。 ○ 夢中でおにごっこをしたり、大はしゃぎでお弁当を食べたりしているクマくんの気持ちを考える。	・紙芝居風に挿絵を見せながら、話の筋を捉えさせる。
遠足に来たクマくんは、どんな気持ちでしょうか。	
・気持ちいいなあ。 ・思いっきり走れるぞ。 ・ああ、おいしい。	・クマくんの行動について、周りを全く気にせず楽しんでいて、悪気がないことをつかませる。
○ 夢の中で泣いている花や木を見たクマくんの気持ちを考える。	
泣いている花や木を見たクマくんは、どんな気持ちでしょうか。	
・知らなかった。 ・痛かったんだね。 ・ぼくが悪かったよ。	・花や木が傷ついたり、泣いたりしている理由を考え、クマくんの行動が原因であることをとらえさせる。
○ 目を覚ましたクマくんの気持ちを考える。	
目を覚ましたクマくんは、片づけをしながら、どんなことを考えていたでしょう。	
・傷つけてしまって、ごめんなさい。 ・これからは気をつけます。 ・自分のことばかり考えていた。	・自然を汚したり、傷つけたりしたことを素直に反省し、ごめんなさいとつぶやいているクマくんに共感させたい。
3 クマくんに手紙を書く。	
クマくんに手紙を書こう。	
	・クマくんに手紙を書くことで、自分で考えて行動することの大切さを捉えさせる。